

# 私立大学図書館協会西地区部会

## 2007年度第2回阪神地区協議会定期総会議事要録

日 時:2008年2月26日(火) 14:00~16:40  
会 場:大手前大学 さくら夙川キャンパス アートセンターD-03 講義室  
出 欠:出席校 …………… 47校(53名)  
欠席校 …………… 20校(内、委任状提出校20校)

### 配付資料

- 1) 2007年度第2回阪神地区協議会定期総会議事次第
- 2) 2007年度第2回阪神地区協議会定期総会別紙添付資料  
資料No.1.2008年度以降の協議会役員校輪番制について
  - (1) 役員校選出に関する提案(案)
  - (2) 役員校ローテーション関係資料に関する申し合せ(案)
  - (3) 2008年度役員校ローテーション表(案)
  - (4) 2008年度定期総会議長校ローテーション表(案)
  - (5) 役員校ローテーション表基礎資料(2007年5月現在、2007年12月補正)
  - (6) 役員校選出に関するアンケート(2007年12月実施)のまとめ
  - (7) 阪神地区協議会役員校輪番制確定基礎資料調査について(案)

### 資料No.2.阪神地区協議会の相互利用業務関係資料

- (1) 注意喚起書類
  - i. 「相互利用(現物貸借)資料の取り扱いについて」の運用に関する覚書
  - ii. 書式「相互利用(現物貸借)資料の取り扱いについて」
  - iii. 相互利用(現物貸借)資料の取り扱いについて
- (2) 協議会ホームページへの追加

### 資料No.3.阪神地区協議会メーリングリスト登録変更依頼

### 議 事

議長選出まで、大手前大学(喜多氏)が議事を進めることとした。大手前大学図書館・館長代理・吉田暁史が開会の挨拶を行った。

#### **I. 議長選出**

阪神地区協議会議長校当番順位(ローテーション表)に基づき、近畿大学中央図書館 森岡勝正氏を選出した。

#### **II. 報告事項**

報告事項に先立ち、議長から、本日の出欠等について報告があり、定期総会が成立している旨、報告があった。

## 1. 阪神地区協議会報告

### 1) 阪神地区協議会会務報告

理事校である大手前大学(喜多氏)から、総会資料(議事次第)に基づき、次の各項目について報告があり、これを了承した。

- (1) 加盟校数(2008年2月26日現在):67校
- (2) 加盟校名称変更
- (3) 2007年度役員校
- (4) 2007年度運営委員会委員
- (5) 2007年度相互利用協定分担保存委員会委員
- (6) 2007年度第1回阪神地区協議会定期総会
- (7) 阪神地区協議会運営委員会

### 2) 阪神地区協議会研究会報告

研究会幹事校である宝塚造形芸術大学(月本氏)から、総会資料(議事次第)に基づき、報告があり、これを了承した。

### 3) 阪神地区相互利用運営幹事校報告

相互利用運営幹事校である関西福祉科学大学(田原氏)から、総会資料(議事次第)に基づき、次の各項目について報告があり、これを了承した。

- (1) 2007年度阪神地区相互利用担当者連絡会
- (2) 2007年度阪神地区相互利用協定分担保存委員会

### 4) 書誌学研究会報告

武庫川女子大学(三上氏)から、総会資料(議事次第)に基づき、報告があり、これを了承した。

## 2. 西地区部会会務報告

理事校(喜多氏)から総会資料(議事次第)に基づき、次の各項目について報告があり、これを了承した。

### 1) 西地区部会加盟校(2007年9月6日現在)

### 2) 役員校・当番校ならびに研究会幹事校

- (1) 2007年度西地区部会役員校
- (2) 2007・2008年度西地区部会当番校
- (3) 2007年度西地区部会研究会幹事校

### 3) 2007年度西地区部会総会

### 4) 2007年度西地区部会研究会

### 5) 2007年度西地区部会役員会

## 3. 協会関係事項報告

理事校(喜多氏)から総会資料(議事次第)に基づき、次の各項目について報告があり、これを了承した。

### 1) 協会加盟校

- (1) 2007 年度加盟校数(2007 年 9 月 6 日現在)
- (2) 2007 年度新規加盟校
- (3) 加盟館名称変更
- 2) 2007 年度常任幹事会
- 3) 2007 年東西合同役員会
- 4) 第 68 回(2007 年度)私立大学図書館協会総会・研究大会
- 5) 2007 年度協会賞審査委員会
- 6) 2007 年度研究助成委員会
  - (1) 委員会
  - (2) アンケート送付について
- 7) 2007 年度国際図書館協力委員会
- 8) 2007 年度協会ホームページ委員会

#### 4. 協会関連事項報告

理事校(喜多氏)から総会資料(議事次第)に基づき、次の各項目について報告があり、これを了承した。

- 1) 国公立大学図書館協力委員会
- 2) 日本図書館協会関係
- 3) 大学図書館近畿イニシアティブ
- 4) その他(後援事項)

### III. 協議事項

#### 1. 2008 年度以降の協議会役員校輪番制について

理事校(竹村氏)から、総会資料(別紙添付資料)に基づき、役員校輪番制に関する説明および 2008 年度以降の役員校選出に関する提案があった。審議の結果、定期総会の議長選出に関して、従来通り五十音順で選出するが、役員校退任あるいは新規加盟から 3 年以内の場合は選出されたものとして扱うことを承認した。また時間の制約から回答できなかった質問は、後日に理事校が回答することになった(別紙「定期総会における『役員校選出に関する提案』に対する主な意見・質問」を参照)。

#### 2. 2008～2009 年度阪神地区協議会役員校について

理事校(喜多氏)から、総会資料(議事次第)に基づき、下記の通り内定している旨の説明があり、審議の結果、異議なくこれを承認した。

理事校	大手前大学
監事校	大阪国際大学
研究会幹事校	関西福祉大学(正) 神戸山手大学・短期大学(副)
相互利用運営幹事校	神戸国際大学

#### 3. 相互利用(現物貸借)における注意喚起について

相互利用運営幹事校(田原氏)から、総会資料(別紙添付資料)に基づき、注意喚起を行うことについて説明があり、審議の結果、異議なくこれを承認した。

#### 4. 阪神地区ホームページへの相互利用ページの追加について

理事校(竹村氏)から、総会資料(別紙添付資料)に基づき、経緯の説明および相互利用ページの案の提示、さらに承認をえられればできるだけ速かに利用可能にするとの補足があり、審議の結果、異議なくこれを承認した。

#### 5. 阪神地区研究会のテーマについて

研究会(副)幹事校(細金氏)から、2008年度の開催予定の説明があり、テーマおよび講師等に関する要望があれば2008年度研究会幹事校である関西福祉大学へ伝えて欲しい、という要請があった。審議の結果、異議なくこれを承認した。

#### 6. 「平成19年度大学図書館近畿イニシアティブ能力開発事業アンケート」への回答について

理事校(喜多氏)から、標記能力開発事業に協力できることは今のところない旨の回答を協議会として送りたいという趣旨の説明があった。審議の結果、異議なくこれを承認した。

### IV. 承合事項

理事校(喜多氏)から、事前に平安女学院大学より理事校に寄せられた内容を紹介した上で、回答すべき加盟館が限られ、また時間をかけて回答するのが望ましい内容であるので、阪神地区協議会メーリングリストを活用するよう依頼した。

関連して、理事校(竹村氏)から、メーリングリストの登録アドレスを変更する場合は管理者まで連絡するよう要請があった。

### V. 確認事項

#### 1. 2008年度第1回阪神地区協議会定期総会議長校について

理事校(喜多氏)から、総会資料(議事次第)および協議事項「1.2008年度以降の協議会役員校輪番制について」での決定に基づき、次回阪神地区協議会定期総会の議長が甲南大学である旨の報告があり、これを確認した。

理事校(喜多氏)から、定期総会開催案内にあった確認事項「2. 2008年度阪神地区協議会役員校について」は協議事項「2. 2008～2009年度阪神地区協議会役員校について」に一本化した旨の説明があった。

### VI. その他

2007年度新規加盟校・近大姫路大学(堂田氏)、次回議長校・甲南大学(宮地氏)から挨拶のことがあった。

以上をもって議事を終了し、大手前大学図書館館長代理・吉田暁史から閉会の挨拶があった。

以上

## 定期総会における「役員校選出に関する提案」に対する主な意見・質問

- (大阪芸術大学) 現状の体制や職員数その他から考えて、②西地区部会長グループの役割が担えるか不安を抱いている。
- (大阪芸術大学) アンケートで 10 年間固定に対する懸念が多かった点に、どう対応したか。  
(理事校) 10 年間で 6 年間に改めた。次の任期(2008～2009 年度)はすでに決まり、その次(2010～2011 年度)までは内定しておきたいが、不測の事態に備えてさらにその次(2012～2013 年度)まで決めておくのがよいのではないか。
- (大阪芸術大学) 新たに設けられた役割(協会や西地区部会の総会・研究会等)とはどのようなものか。  
(理事校) おおよそのことは理解しているが、細部まで把握して満足に説明できる状態にあるとはいえない。
- (大阪芸術大学) 職員数の換算に関して、「専任でない職員」の数をたとえば専任職員の半分と扱うことはできないか。  
(理事校) この場でただちには返答しかねる。

後日の回答でよいとしてなされた質問

- (関西学院大学) 次に見直すのはいつか。  
(理事校) 奇数年に予備調査を行い、それに基づいて見直しに着手することを考えている。次の次まで確定させるという前提からすれば、2011 年度役員校を決める場合になると思われる。
- (関西学院大学) グループわけの基準を明確に示してほしい。  
(理事校) 総会別紙添付資料(30～32 頁)の「役員校ローテーション表(案)」に示した規模ポイントが、グループわけに際して用いた数値である。それぞれ①協会会長「3447～1694」、②部会長「772～332」、③協議会理事「277～170」、④幹事「105～61」、⑤当番「47～22」、その他(「免除」)「19～3」の間に収まるようグループわけを行った。グループ間の差よりも、グループ内での幅の方が大きくなっている。また規模ポイントおよびその分布が変動すれば、グループわけもかわる。

作成: 大手前大学  
2008 年 3 月 10 日